



## 特集「英語入試が変わる、英語教育が変わる」

9月26日に「スーパーグローバル大学」37校が発表されました。そもそも「スーパーグローバル大学」とはどのようなものか。文部科学省のホームページには次のようになっています。

「スーパーグローバル大学創成支援」は、世界レベルの研究を行うトップ大学や、先導的試行に挑戦し我が国の大学の国際化を牽引する大学など、徹底した国際化と大学改革を断行する大学を重点支援することにより、我が国の高等教育の国際競争力を強化することを目的としています。

そして、二つのタイプに分けています。

### タイプA(トップ型)

世界大学ランキングトップ100を目指す力のある、世界レベルの教育研究を行うトップ大学。

### タイプB(グローバル化牽引型)

これまでの実績を基に更に先導的試行に挑戦し、我が国の社会のグローバル化を牽引する大学。

「スーパーグローバル大学」に選定されると、最大10年間国からの財政的援助が受けられることとなります。

この事業に申請した大学は、「タイプA」16校、「タイプB」93校にのぼりました。そして採択された大学は以下の通りです。

### 「タイプA」(13校)

北海道大学 東北大学 筑波大学 東京大学 東京医科歯科大学  
東京工業大学 名古屋大学 京都大学 大阪大学 広島大学  
九州大学 慶應義塾大学 早稲田大学

### 「タイプB」(24校)

千葉大学 東京外国語大学 東京芸術大学 長岡技術科学大学  
金沢大学 豊橋技術科学大学 京都工芸繊維大学 奈良先端科学技術大学院大学  
岡山大学 熊本大学 国際教養大学 会津大学  
国際基督教大学 芝浦工業大学 上智大学 東洋大学 法政大学  
明治大学 立教大学 創価大学 国際大学 立命館大学 関西学院大学  
立命館アジア太平洋大学

因みに、各大学はどのような構想を提出したのでしょうか。幾つか紹介しましょう。

#### 東京大学

東京大学グローバルキャンパスの構築

#### 東京医科歯科大学

TMDU型グローバルヘルス推進人材育成構想:地球規模での健康レベル向上への挑戦

#### 京都大学

京都大学ジャパングートウェイ構想

#### 早稲田大学

Waseda Ocean 構想 ~開放性、多様性、流動性を持つ教育研究ネットワークの構築~

さて、各大学の構想を審査する際には幾つかの観点が示されている。その中でも今ここで注目したいのは次のことである。

### 入試改革

#### ① TOEFL 等外部試験の学部入試への活用

入学志願者の外国語におけるコミュニケーション能力を適切に評価する観点から、TOEFL や IELTS 等の結果を、大学院のみならず学部一般入試に活用しているか。その場合、どの程度の規模(全学/特定の部局)で活用しているか。対象となる学部入学定員数に占める割合は、どの程度か。

#### ② 多面的入学者選抜の実施

入学志願者の能力、意欲、適性や活動歴などを多面的・総合的に評価・判定する観点から、インターンシップやボランティア活動、海外留学・研修等の評価を入学者選抜に活用し、その旨を募集要項等において具体的に記載しているか。

#### ③ 入試における国際バカロレアの活用

この「スーパーグローバル大学」構想が、前号の「大学入試改革」に繋がっていることがわかります。そして中等教育の教育課程、特にこれからの英語教育に大きく影響を与えていくことも予想できます。英語学習における所謂4技能(読む・聞く・書く・話す)の習得が最大要件となっていきます。英語の資格・検定試験(詳細は裏面)に対する依存度がより高まってきます。

「みなし満点」という言葉が最近できました。これはどういうことかとかというと、「(大学入試の)本試験の英語において満点に匹敵すると推定できる高い実力を、指定の4技能試験で示すことができた生徒には、申告により英語科目満点を与える。」ということです。例えば、TOEFL iBT 80点(各技能15点以上)を1年以内に取得していれば、英語科目は満点とみなす」というものです。

実際例を挙げてみましょう。

#### ☆国際教養大学 国際教養学部(一般入試)

TOEFL iBT 71点以上、TOEFL PBT 530点以上、英検準1級、TOEIC 780点以上  
IELTS 4技能6.5以上のスコアまたは等級を所持している者については、大学入試センター試験の英語科目を満点と換算して、合否判定を行う。

#### ☆平成28年度 東京大学 推薦入試

出願必要書類の一つとして、

外国語に関する語学力の証明書(TOEFL、英検、IELTS、TestDaF、DALF、HSK など)  
(※勿論上記の条件だけで合格できるわけではありません)

大学入試の英語に関しては、「みなし満点」に類する活用は今後増えていくものと思われます。

以上のように、「英語入試、英語教育」は今、大きく変わろうとしています。また新たな情報を得ましたら紹介致します。

ところで、現代フランス語に「tata miser」(タタミゼ)という言葉があるそうです。意味は「日本風に暮らす」「日本かぶれる」「日本最良になる」というものだそうです。毎日新聞特別編集委員の山田孝男氏が新潮社の広報誌「波」に、鈴木孝夫氏の『日本の感性が世界を変える 言語生態学的文明論』の書評を書いています。それには、フランスで「タタミゼ」が使われるようになった理由は、「…日本語を使うことにより、話し手が優しく、礼儀正しくなるというニュアンスもあるらしい。…」とあります。英語を使いこなして世界に出て行く時代であるからこそ、日本語の4技能も学習し、日本人としてのアイデンティティもしっかり身につけて欲しいものです。

主な英語の資格・検定試験

試験名	実施団体	受験人数	年間実施回数	成績表示方法	出題形式(※)	受験料
実用英語技能検定	日本英語検定協会	約235.5万人(H25実績)	3回	1級～5級(7つ) 合否による表示	R/L/W(1級・準1級)/ S(3級以上)	1級 8400円 準2級 6900円
TOEFL	テスト作成: ETS 日本事務局: CIEE	非公表	30～40回	0～120点 4技能を各0～30点 で評価	R/L/W/S	225ドル
TOEIC	テスト作成: ETS 日本事務局: CIEE	約230.4万人(H25実績) 全世界では700万人	10回	10～990点	R/L	5725円
TOEIC Speaking/Writing	テスト作成: ETS 日本事務局: IIBC	約1.1万人(H25実績)	24回	0～400点	W/S	10260円
IELTS	ブリティッシュ・カウンシル、 ケンブリッジ大学英語検定機構 日本英語検定協会 等	約2.4万人(H25見込み) 全世界では200万人	約30回	1.0～9.0 0.5刻み	R/L/W/S	25380円
ケンブリッジ英検	ケンブリッジ大学英語検定機構	国内人数非公表 全世界では250万人	2～3回	上級～特上級(5つ) 合否、スコア(0～100) グレード	R/L/W/S	FCE(B2) 19980円 CAE(C1) 22140円
GTEC	ベネッセコーポレーション	約2.0万人(H24実績)	通年	0～1000点	R/L/W/S	12960円
TEAP	日本英語検定協会	約0.3万人 (H26第1回申込者数)	3回	80～400点 CEFRレベル表示も有り	R/L/W/S	RLSW 15000円

※ R=Reading, L=Listening, W=Writing, S=Speaking

各試験団体のデータによる CEFR との対照表

CEFR	実用英語技能検定	GTEC CBT	TOEFL iBT	IELTS	TEAP	ケンブリッジ英検	TOEIC&TOEIC SW
C2				8.5～9.0		Proficiency(CPE:特上級)	
C1	1級	1400	110～120	7.0～8.0	396	Advanced(CAE:上級)	1305～1390
B2	準1級	1250～1399	87～109	5.5～6.5	334	First(FCE:上中級)	1095～1300
B1	2級	1000～1249	57～86	4.0～5.0	226	Preliminary(PET:中級)	790～1090
A2	準2級	700～999		3.0	186	Key(KET:上初級)	385～785
A1	3級～5級	～699		2.0			200～380

(文部科学省作成)

CEFR(外国語の学習・教授・評価のためのヨーロッパ共通参照枠)

熟達した 言語使用者	C2	聞いたり読んだりした、ほぼすべてのものを容易に理解することができる。いろいろな話し言葉や書き言葉から得た情報をまとめ、根拠も論点も一貫した方法で再構築できる。自然に流暢かつ正確に自己表現ができる。
	C1	いろいろな種類の高度な内容のかなり長い文章を理解して、含意を把握できる。言葉を探しているという印象を与えずに、流暢に、また自然に自己表現ができる。社会生活を営むため、また学問上や職業上の目的で、言葉を柔軟かつ効果的に用いることができる。複雑な話題について明確で、しっかりとした構成の、詳細な文章を作ることができる。
自立した 言語使用	B2	自分の専門分野の技術的な議論も含めて、抽象的な話題でも具体的な話題でも、複雑な文章の主要な内容を理解できる。母語話者とは互いに緊張しないで普通にやりとりができるくらい流暢かつ自然である。幅広い話題について、明確で詳細な文章を作ることができる。
	B1	仕事、学校、娯楽などで普段出会うような身近な話題について、標準的な話し方であれば、主要な点を理解できる。その言葉が話されている地域にいるときに起こりそうな、たいいてい事態に対処することができる。身近な話題や個人的に関心のある話題について、筋の通った簡単な文章を作ることができる。
基礎段階の 言語使用	A2	ごく基本的な個人情報や家庭情報、買い物、地元の地理、仕事など、直接的関係のある領域に関しては、文やよく使われる表現が理解できる。簡単で日常的な範囲なら、身近で日常的な事柄について、単純で直接的な情報交換に応じることができる。
	A1	具体的な欲求を満足させるための、よく使われる日常的な表現と基本的な言い回しは理解し、用いることができる。自分や他人を紹介することができ、住んでいるところや、誰と知り合いであるか、持ち物などの個人的情報について、質問をしたり、答えたりすることができる。もし相手がゆっくり、はっきりと話して、助けが得られるならば、簡単なやりとりをすることができる。

(ブリティッシュ・カウンシル、ケンブリッジ大学英語検定機構作成)